



目標は決まった。一人ひとりの目標に向けて・・・

自己に打ち勝て！

先週の進路懇談会で、3年生一人ひとりの「目標」がほぼ決定しました。迷ったり悩んだりしながらも、真剣に自分の将来や進路のことを考えに考えて、決定してきました。次にあなたがやるべきことは、その「目標」に向けて後悔のないように努力することです。この冬休みの過ごし方で、あなたの「未来への第一歩」が決まります。冬休みの過ごし方の5つのポイントを紹介します。

ポイント1.「時間を大切に」

私立入試（2/10）公立特別選抜（2/19）まで、あと約1カ月半、公立一般選抜（3/11）までは約2カ月と少し、限られた時間をいかに有効に活用するかが鍵となってきます。「計画をたててひたすら実行あるのみ」

ポイント2.「夜更かしはしない！健康に過ごそう」

せっかくの冬休みに体調を崩して思ったより勉強できなかった・・・と後悔しないように。夜に質の良い睡眠をとることはとても大切です。栄養があるごはんをしっかりと食べて、夜はしっかりと寝てください。感染症に負けない身体づくりを！

ポイント3.「弱点強化！」

各教科の弱点の補強をしておこう。ワークの基本的な問題に取り組んだり、過去のテストで振り返ったりしておこう。苦手教科の克服は、受験にとって大変効果的な作戦になります。不安な気持ちも解消されます。

ポイント4.「誘惑に負けない」

冬休みは学校もないし、クリスマスにお正月、あなたにとって何かと気が散る行事がやってきます。楽しむときは楽しみ、やる時はやる。切り替えが大切な時期です。今年だけは「ささやかに」過ごしてもいいかもしれませんね。

ポイント5.「過去問に挑戦！」

冬休み中に過去問をやっておこう。各教科100点をとれるまで何度も繰り返しやれば、確実に力がつき、その学校の問題傾向も自然とわかってきます。すべてクリアしてから、昨年度の問題に挑戦すると、意外と簡単に合格最低ラインを突破できるはずです。その結果はあなたの「自信」へとつながります。さあ、すぐに始めてみよう。

みんなのことを世界中で一番よく知っている、一番心配してくれる保護者の方々と、一人ひとりが考え抜いて決定した進路です。ここまで来れば、無責任なデマや単なるうわさに惑わされることなく、自分の目標に向けて頑張るしかありません。自分自身をしっかりと見つめ、強い気持ちで時を過ごしてください。スランプに陥ったり、何か困ったことが発生したら、ひとりで悩まずに、担任の先生に相談してください。問題解決の「ヒント」がきっと見つかるはずです。最終の目標は、目標を決めることではありません。目標を自分のその手でつかみ取るまで「自己に打ち勝て！」

志望校が決まれば、出願の準備スタートです！

私立高校を受験する方へ ①今からすること

☆各高校の募集要項に沿って進める☆

☐ 志望校の募集要項を確認する。

各高校の HP にある。ない場合は高校へ取りに行くなど。

インターネット(Web)出願では高校まで願書を取りに行く必要はないが、

高校まで一度足を運んでおくほうが良い。

(高校までの道や、電車の乗り換え、最寄り駅など確認しておくとう入試当日に困らない)

☐ 志望校の「インターネットによる出願(Web 出願)サイト」にアクセスする。

☐ マイページをつくる。

☐ 出願内容の登録、顔写真のアップロードなど。

☐ 「申込内容確認書」をプリントアウトし、中学校へ提出。(12月22日までに)

注意：インターネット (Web) 出願では、一人一台端末は使用できません。

注意：「検定料」は、1月13日(火)以降に振込を始める。振込の期限は高校で
違う場合があるため、必ず募集要項を確認して期限内に振込んでください。

私立高校を受験する方へ ②終業式、始業式の提出書類

☐ インターネット(Web)出願以外の場合、出願書類一式

公立高校受験をする方へ <進路行事予定表からの変更点>

12月に配布予定でしたが、私立高校の出願と重なっておりますので、混乱を避けるために
1月にマイページ案内の用紙と説明プリントを配布します。

写真のQRコードはなくさないようにしてください。

公立高校の願書はオンライン出願システム上で作成します。

<冬休みの勉強アドバイス>

過去問の演習を！ 演習後はしっかり解き直すこと。

過去問を入手したら、まず1年分を解いて採点してみましょう。

自分の得点力と合格に必要な点数との差がわかります。1日1教

科ずつ時間を計って演習し、採点後、同じぐらいの時間をかけて

じっくり解説を読み、間違い直し(解き直し)をしましょう。出題

傾向(特徴やパターン)・難易度がわかり、対策がつかめてきます。入試科目の学習も続けましょう。

公立対策：特別選抜の対策は私立と並行して、一般選抜は私立が終わってから。

私立受験から公立一般選抜まではひと月ありますが、公立特別選抜までは2週間ありません。特別選抜受験者は、私立の対策と並行して、同時に公立の過去問演習もすすめましょう。

中学校生活最後の冬です。

必ず春は来ます。

「がんばれ！！」